



第298号

編集責任 筑波大学新聞 編集代表 荻野祥三

TEL: 029(853)2040-6699 E-mail: shinbun@tsukuba.ac.jp

発行所 筑波大学 茨城県つくば市

国際戦略総合特区に指定

産学官で競争力高める

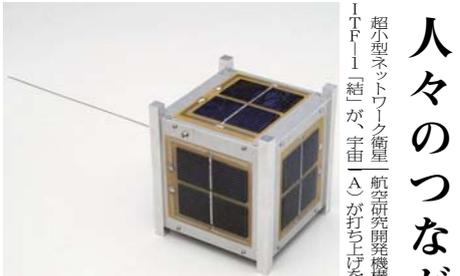
本学が県、市と共同で国際生活支援プロジェクトを申請していた...



首相官邸で行われた授与式の様子

結ぶ組織として機能することを目指す。

「結」打ち上げ決まる



今回打ち上げが決まった「結」

人々のつながりを築く

超小型ネットワーク衛星 航空研究開発機構(JAXA) ITRF1「結」が打ち上げを予定して

このGPM(全球降水観測計画)衛星に相乗りさせる小型衛星に選ばれた

とができ、子どもでも扱うことが可能だといふ。

「結」では、新型マイクロプロセッサの放射線耐性を超小型アンテナの動作実験もあわせて行う予定



1月14日、大学入試センター試験。寒空の下で受験生はいよいよ本番に臨む。

つくば歳時記 年越しから正月を、帰省の山台市で過ごした。

改修宿舍が選ばれる 鮮やかな色彩を評価

平成21年度から改修が進められている学生宿舎が、昨年1月27日、第25回公共的色彩賞を受賞した。

センター試験 6910人が受験 大学入試センター試験が1月14～15日に行われ、本学でも6つのエリアの145教室が会場となり、6910人の受験生がおのの進路を懸けて試験に挑んだ。

Table with 2 columns: 紙面から (Science, Education, etc.) and 特集 (6.7 Disaster relief, etc.)

初等教育学コース新設 小学校免許取得可能に 来年度より設立

ため、初等教育学コース以外の者が小学校の免許を取るまで4年間で卒業することは難しい。

筑波大学 年越しから正月を、帰省の山台市で過ごした。

筑波大学 年越しから正月を、帰省の山台市で過ごした。

2011 クリスマス コンサート

つばが輝やかなイルミネーションによって照らされ、クリスマス一色となった昨年12月17日。華やかな街に本学団体の演奏が色を添えた。今回はその中から3団体を紹介する。



荘厳な曲目を歌い上げる合唱団

合唱団むくどり 幅広い曲目を披露

14時から合唱団むくどりによるクリスマスコンサートが、つくば文化会館アルスホール(つくば市吾妻)で行われた。

14:00~

今回のコンサートでは「We wish you a merry Christmas」などの有名なクリスマスソングから、ビートルズの「オランダ・オランダ」などのポップスまで、幅広い曲目が演奏された。

コンサートの途中で、サンタクロースに仮装した男性メンバーが一人混じりながら演奏をリードし、会場を盛り上げた。

15時30分からは、筑波大学吹奏楽団第66回定期演奏会が、アルスホール(つくば市吾妻)で行われた。

演奏会第1部は、第2部で構成され、第1部は、第2部の荘厳な曲目を中心に、第2部は、アマニヒロイン・メドレーなどのポップソングから、カーペンターズの代表曲「青春の輝き」などのバラッドも盛り込んだ。さまざまな曲目が演奏された。

アンニヒロイン・メドレーでは、昭和が平成までの少女向けアニメの主

筑波大学吹奏楽団 吹奏楽と仮装の調和

15時30分からは、筑波大学吹奏楽団第66回定期演奏会が、アルスホール(つくば市吾妻)で行われた。

15:30~

題歌が演奏され、その曲ごとにアマニヒロインに合わせた仮装が披露された。第2部では、第2部の荘厳な曲目を中心に、第2部は、アマニヒロイン・メドレーなどのポップソングから、カーペンターズの代表曲「青春の輝き」などのバラッドも盛り込んだ。さまざまな曲目が演奏された。

アンニヒロイン・メドレーでは、昭和が平成までの少女向けアニメの主

アカペラサークル Doo-Wop

6つのバンドがにぎやかに歌う

18:00~

18時から、アカペラサークル「Doo-Wop」による「Christmas Live 2011」がつくば市オホホールのホールで行われた。会場には多くの人が来場し、非常に盛り上がった。クリスマスソングは6つ



柔らかなハーモニーでクリスマスを祝った

そのバンドによって行われ、それぞれのバンドがクリスマスソングをききはじめた。ボフォス中の曲目を演奏した。

ステージ上は、クリスマスソングやサタクロースのシルエット形とられた小道具が置かれた。クリスマスソングが弾き語りをするなど、感じさせる演出が施された。

それぞれのバンドがMCなどで会場を盛り上げた。その中でも、第2部の注目を浴びたのが、女性6人による「Doo-Wop」だった。

パレヨはメンバー全員がサンタクロースの衣装を身にまとい、A・B・Cの「ヘビーローテーション」など4曲をダンスを交えながら演奏し、会場から歓声があ

本紙配布 場所一覧

- 筑波大学の動きがよ分かる公式の学内広報紙「筑波大学新聞」(無料) 毎月(長期休暇中は除く)第2週に発行。本紙の学内学内配布場所は下の通り
- 各学群・学類の学内掲示板前11C棟2階、2B棟2階、3B棟2階、4A棟2階、5C棟2階(休)
- チ前11A棟2階、図書管理事務室前11B棟共用棟2階、砂丘共用棟2階、U1ショップ前11大学会館の隣
- ▼大会館前書庫2階、隣方ウインター棟

第1回「桐華祭」開催 創部5年目の節目を飾る



観客を元気づける応援 注目を集める工夫も

応援部W.I.N.S.の単独公演、つくばカピオホール(昨年12月22日)は市吾妻)で行われ、約2時間にわたって会場を盛り上げた。

「桐華祭」の開催は今回が初めて。応援部W.I.N.S.の創部5年目の節目にあたり、母校である本学、そして今まで部を支えた関係者やOB・OGなどに感謝の意を示すために開催された。

公演では、アメフトなどを応援するときに用いる応援メロディを始め、人気アニメ「ワンピース」の主題歌「ウィーアー!」、本学宣揚歌「桐の葉」など、さまざまなジャンルの演目が披露された。演目では、学ランを着て応援するリーダーの力強い声や、チアリー

ダンスの華やかさ、アンサンブルバンドの軽快な演奏が組み合わさり、観客を魅了した。

10分間の休憩時間にも、団員による演劇が行われるなど、観客の注目を集める工夫が凝らされていた。

土浦市から来た女性は大いに語った。

59作品が展示される 独創的な作品も

人間発科学科研究科博士前期課程専攻の准教授、日本画 版画を学ぶ学生35人による第27回M.C展が、昨年12月3日(日)に筑波県立美術館(つくば市吾妻)で開かれた。

M.C展は日頃の制作・研究の成果を学外に向けて発表し、今後の制作の糧とする機会とされている。

今回の展覧会では、学生35人の作品が展示された。その中で、独特の世界観を有する作品や、布や綿を用いた作品など、独創的な作品が目を惹いた。

「危機感を感じる為の椅子」は、布や綿を用いた立体作品。椅子の背もたれ部分に、危機感を感じさせるような彫刻が施されている。また、牛久市から来た女性は、「一人ひとりの個性があり、充実している。発想が奇抜なものもあり素晴らしい」と語った。



布や綿による立体作品「危機感を感じる為の椅子」

芸術専門学群クラフト展 斬新な作品を多数展示 学生らの感性光る

芸術専門学群の構成専攻および博士前期課程芸術専攻の学生によるクラフト展が、昨年12月6日(日)に大学会館の総合交流会館で行われ、陶器、ガラス、木工作品が数多く展示された。

クラフトとは、手作業による制作、工芸のこと。5回目となる今回は、手作業で作られたクラフトの斬新な家や動物、木製の斬新な器など、それぞれを生かした作品が数多く展示された。学生は、「自分の作品だけでなく、他の学生が作った作品も見たい」と、講評を聞いた。また、8日は茨城県豊雲美術館館長の金子賢治氏が特別講演を行った。学生たちは自分の作品について説明しながら、今後の作品制作に生かそうと講評に熱心に関わっていた。

心を開き、それぞれの作品を展示した学生は、「自分の作品だけでなく、他の学生が作った作品も見たい」と、講評を聞いた。また、8日は茨城県豊雲美術館館長の金子賢治氏が特別講演を行った。学生たちは自分の作品について説明しながら、今後の作品制作に生かそうと講評に熱心に関わっていた。

出展した作品について語る本学生

柔道グランドスラム東京大会

緒方、一本勝ちで優勝

オリンピックに一步近づく

OB・OGも活躍

柔道 グランドスラム東京大会が昨年12月9・11日に東京体育館(東京都港区)で行われた。本日から4人が出場し、78kg級で緒方香里(体専3年)が優勝した。また柔道OB・OGも多数出場した。

緒方は決勝でハリソン(アメリカ)と対戦、序盤は押されていたものの、外刈りで有効。終盤では体勢を崩したハリソンを押しさえ込み、一本勝ちをした。秋本啓吾(徳寺学園)・体育専2年は73kg級決勝でイサエフ(ロシア)に抽つり込み腰で技ありを取り、優勝した。

柔道ワールドマスターズが1月14・15日にオーストラリアで開幕した。緒方は1回戦でオーストラリアの選手と対戦し、66kg級で森下純平(体専3年)・78kg級で緒方が

3位に輝いた。OB・OGも活躍した。緒方は準決勝でヤン・選手には昨年も破れている。意気込んで挑んだ内刈りでも有効を取るが、攻め急いでも一本負けした。またOGの橋本賢一(アデライド)は62kg級決勝で浅見八穂(アデライド)を倒し、オリンピック出場に望みをつないだ。緒方はワールドマスターズでは試合の流れを読むという課題が鮮明になった。次の大会ではオリンピックに行くのが目標だとアピールしている。増地秀監督(体育・講師)は「結果は良くないが、オリンピック出場に向け、緒方は追いかけられる立場におり、必死にならねばならない」と語る。

女子はトナメント戦を勝ち進み、4回戦の龍谷大を3-0で下した。準々決勝でも3-0で福岡大を倒した。続く準決勝では2-3で日本体育大にフルセット、3回決定戦では0-3で嘉悦大に敗れ、総合4位となった。中西康己監督(体育・准)

男子はトナメント戦の2回戦から登場し、姫路独逸大に2-0で勝利した。3回戦の駒大を2-0、4回戦の愛知学院大を2-0で下し、こゝまでストリート勝ちの準々決勝を迎えた。しかし、準々決勝の中央大戦で1-3とドラゼットで敗れ、ベスト8という結果に終わった。都澤凡夫監督(体育・教授)は「試合は有利に進べたものの、勝負どころでスパイクミスが出てしまった。今後は安定したレベルを目指し、新たなメンバーで戦力を強化していきたい」と語る。

平成23年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会が、昨年12月14・15日に東京体育館(東京都港区)で行われた。3回戦では、都澤凡夫監督(体育・教授)は「試合は有利に進べたものの、勝負どころでスパイクミスが出てしまった。今後は安定したレベルを目指し、新たなメンバーで戦力を強化していきたい」と語る。

男子はトナメント戦の2回戦から登場し、姫路独逸大に2-0で勝利した。3回戦の駒大を2-0、4回戦の愛知学院大を2-0で下し、こゝまでストリート勝ちの準々決勝を迎えた。しかし、準々決勝の中央大戦で1-3とドラゼットで敗れ、ベスト8という結果に終わった。都澤凡夫監督(体育・教授)は「試合は有利に進べたものの、勝負どころでスパイクミスが出てしまった。今後は安定したレベルを目指し、新たなメンバーで戦力を強化していきたい」と語る。

女子はトナメント戦を勝ち進み、4回戦の龍谷大を3-0で下した。準々決勝でも3-0で福岡大を倒した。続く準決勝では2-3で日本体育大にフルセット、3回決定戦では0-3で嘉悦大に敗れ、総合4位となった。中西康己監督(体育・准)

全日本バレーボール大会選抜男女東西対戦2011が、昨年12月24日に新日鐵体育館(堺市堺区)で開催された。本学からは出未田敏(体専2年)が東軍男子で、高橋那依(同4年)が東軍女子で出場した。また、中西監督が東軍女子の監督を務めた。

柔道 グランドスラム東京大会が昨年12月9・11日に東京体育館(東京都港区)で行われた。本日から4人が出場し、78kg級で緒方香里(体専3年)が優勝した。また柔道OB・OGも多数出場した。

緒方は決勝でハリソン(アメリカ)と対戦、序盤は押されていたものの、外刈りで有効。終盤では体勢を崩したハリソンを押しさえ込み、一本勝ちをした。秋本啓吾(徳寺学園)・体育専2年は73kg級決勝でイサエフ(ロシア)に抽つり込み腰で技ありを取り、優勝した。

柔道ワールドマスターズが1月14・15日にオーストラリアで開幕した。緒方は1回戦でオーストラリアの選手と対戦し、66kg級で森下純平(体専3年)・78kg級で緒方が

3位に輝いた。OB・OGも活躍した。緒方は準決勝でヤン・選手には昨年も破れている。意気込んで挑んだ内刈りでも有効を取るが、攻め急いでも一本負けした。またOGの橋本賢一(アデライド)は62kg級決勝で浅見八穂(アデライド)を倒し、オリンピック出場に望みをつないだ。緒方はワールドマスターズでは試合の流れを読むという課題が鮮明になった。次の大会ではオリンピックに行くのが目標だとアピールしている。増地秀監督(体育・講師)は「結果は良くないが、オリンピック出場に向け、緒方は追いかけられる立場におり、必死にならねばならない」と語る。

女子はトナメント戦を勝ち進み、4回戦の龍谷大を3-0で下した。準々決勝でも3-0で福岡大を倒した。続く準決勝では2-3で日本体育大にフルセット、3回決定戦では0-3で嘉悦大に敗れ、総合4位となった。中西康己監督(体育・准)

男子はトナメント戦の2回戦から登場し、姫路独逸大に2-0で勝利した。3回戦の駒大を2-0、4回戦の愛知学院大を2-0で下し、こゝまでストリート勝ちの準々決勝を迎えた。しかし、準々決勝の中央大戦で1-3とドラゼットで敗れ、ベスト8という結果に終わった。都澤凡夫監督(体育・教授)は「試合は有利に進べたものの、勝負どころでスパイクミスが出てしまった。今後は安定したレベルを目指し、新たなメンバーで戦力を強化していきたい」と語る。

平成23年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会が、昨年12月14・15日に東京体育館(東京都港区)で行われた。3回戦では、都澤凡夫監督(体育・教授)は「試合は有利に進べたものの、勝負どころでスパイクミスが出てしまった。今後は安定したレベルを目指し、新たなメンバーで戦力を強化していきたい」と語る。

男子はトナメント戦の2回戦から登場し、姫路独逸大に2-0で勝利した。3回戦の駒大を2-0、4回戦の愛知学院大を2-0で下し、こゝまでストリート勝ちの準々決勝を迎えた。しかし、準々決勝の中央大戦で1-3とドラゼットで敗れ、ベスト8という結果に終わった。都澤凡夫監督(体育・教授)は「試合は有利に進べたものの、勝負どころでスパイクミスが出てしまった。今後は安定したレベルを目指し、新たなメンバーで戦力を強化していきたい」と語る。

女子はトナメント戦を勝ち進み、4回戦の龍谷大を3-0で下した。準々決勝でも3-0で福岡大を倒した。続く準決勝では2-3で日本体育大にフルセット、3回決定戦では0-3で嘉悦大に敗れ、総合4位となった。中西康己監督(体育・准)

全日本バレーボール大会選抜男女東西対戦2011が、昨年12月24日に新日鐵体育館(堺市堺区)で開催された。本学からは出未田敏(体専2年)が東軍男子で、高橋那依(同4年)が東軍女子で出場した。また、中西監督が東軍女子の監督を務めた。

第48回全国大学ラグビー選手権

国立大初のベスト4へ進む

ラグビー

第48回全国大学ラグビー選手権が、昨年12月18日から1月8日まで国立競技場(東京都新宿区)などで行われた。本学は準々決勝で明治大学に勝利し、国立大学として初めてベスト4に勝ち進んだ。

初戦の東海大、2回戦の明治大にはそれぞれ22-19、11-9で勝利。明治大戦では、序盤の流れを奪われ、前半9分にペナルティゴールを決められた3点を先制された。だが積極的にボールを動かして続け、前半24分で彦坂圭(体専3年)がトライし、逆転。その後、

再び得意なスクラムと壁を打ち、後半は明治大のキックオフを始め、本学が積極的な攻め、後半24分、松本真七郎(同1年)が得点し、11-9で再び逆転。勝利を収めた。「点差は僅差だが、内容としては動きのある筑波大らしいラグビーで圧倒できた」と川口拓生監督(体育・講師)は振り返る。

準決勝は対戦の観客が見守る中、年明けの国立競技場で行われた。当日はペナルティゴールによる放送も行われた。対戦相手は12月の関東大学対抗戦でも0-11で敗北を喫し、史上2校目の大学選手権3連覇を狙う「グラウンドを駆け回る本学選手」写真提供：T.S.A(後藤祐士)

変えるところまで進まず、29で敗れた。強いリーダーシップで今年度のラグビー部を牽引してきたキャプテンの村夫(同4年)が、怪我で最後の復帰が叶わなかった。しかし、副部長を務めた松本がペナルティゴールを決めたが、その後も流れをしっかりと部員が支え、結果として副部長以来最高の結果を残し、4年連続でベスト4に勝ち進んだ。古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。



グラウンドを駆け回る本学選手 写真提供：T.S.A(後藤祐士)

第60回全国大学サッカー選手権大会が、昨年12月18日から1月5日まで、古河市サッカー場(茨城県古河市)で開催された。本学は1回戦第1日目、昨年優勝の中京大と対戦し、0-2で敗退した。前半29分に先制点を奪われ、中京大に試合の主導権を握られると、後半39分に

苦戦強いられ 初戦敗退 サッカー 第60回全国大学サッカー選手権大会が、昨年12月18日から1月5日まで、古河市サッカー場(茨城県古河市)で開催された。本学は1回戦第1日目、昨年優勝の中京大と対戦し、0-2で敗退した。前半29分に先制点を奪われ、中京大に試合の主導権を握られると、後半39分に

多くの声援を背に、遠藤はよいと自ら決戦に挑む。相手はこれまで何度か戦ったが、遠藤は「相手はこれまで何度か戦ったが、遠藤は「相手はこれまで何度か戦ったが、遠藤は「相手はこれまで何度か戦ったが、遠藤は」

遠藤宏美(体専1年)のインタビュー。彼女は笑顔で話している。

遠藤宏美(体専1年)のインタビュー。彼女は笑顔で話している。

遠藤宏美(体専1年)のインタビュー。彼女は笑顔で話している。

遠藤宏美(体専1年)のインタビュー。彼女は笑顔で話している。

変えるところまで進まず、29で敗れた。強いリーダーシップで今年度のラグビー部を牽引してきたキャプテンの村夫(同4年)が、怪我で最後の復帰が叶わなかった。しかし、副部長を務めた松本がペナルティゴールを決めたが、その後も流れをしっかりと部員が支え、結果として副部長以来最高の結果を残し、4年連続でベスト4に勝ち進んだ。古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

古川監督は「選手たちはみな手をこまねかしてはいない。結果は悪いが、4年連続でベスト4に勝ち進んだのは、チームの成長の証だ」と語る。

闘志を胸に、頂点へ

闘志を胸に、頂点へ

闘志を胸に、頂点へ

闘志を胸に、頂点へ

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

顔

みちのく Photo Caravan 被災地の“今”を写す



被災地の写真に見入る本学生

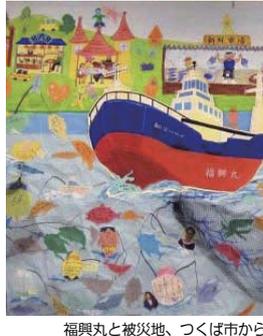
経験者によるトークセッションも 学生ボランティアの必要性訴える

被災地の風景やボランティア活動の様子を撮影した写真展「みちのく Photo Caravan」が、12月9日に、3A棟1階ロビーの共用スペースで行われた。

この展覧会企画した「みちのく Photo Caravan」は、被災地に関する情報発信を主眼とした学生団体。写真展は本学のほかに、14ヶ所を会場として開催された。

会場の「震災の傷跡」「復興の兆し」と題されたスライドには、3人のフォトジャーナリストが撮影した被災地の人々の写真が並べられた。被災地の人々の写真が並べられた。被災地の人々の写真が並べられた。

ふるくの大まちゃん No.31 おせっかい



福丸と被災地、つくば市からのメッセージ

港町の巨大オブジェ制作 被災地とつくばをつなぐ

「気仙沼市民、本学生、つくば市民からの声を集め、ジェを届けたい。被災地を震災復興後の笑顔、気仙沼市以外の地の人々のメッセージをイメージして、セージを一緒に配置し、巨大オブジェが制作された。本学の東工大震災の支援グループ「Tsukuba for 3.11」のメンバーが制作を主導し、昨年12月17日、気仙沼市の漁船「福丸」を艦載した。

フォルクローレ愛好会

現在40人ほどのメンバーで活動している。学類は比文、芸専、知識図書、心理など多岐にわたる。数人でチームを組んで演奏する形式が主だ。

演奏通し、全員が一体に

「演奏通し」とは、全員が楽器を演奏する。今回は、全員が楽器を演奏する。今回は、全員が楽器を演奏する。今回は、全員が楽器を演奏する。



「たんのぼ」は、筑波大学のフォルクローレ愛好会のメンバーがカラフルな民族衣装とユニークな楽器で演奏している。今回は、全員が楽器を演奏する。

「演奏通し」とは、全員が楽器を演奏する。今回は、全員が楽器を演奏する。今回は、全員が楽器を演奏する。

「演奏通し」とは、全員が楽器を演奏する。今回は、全員が楽器を演奏する。今回は、全員が楽器を演奏する。

「演奏通し」とは、全員が楽器を演奏する。今回は、全員が楽器を演奏する。今回は、全員が楽器を演奏する。

「たんのぼ」は、筑波大学のフォルクローレ愛好会のメンバーがカラフルな民族衣装とユニークな楽器で演奏している。今回は、全員が楽器を演奏する。

